

令和2年度 第13回 政策調整会議 会議録

◆開催日時:令和2年12月22日(火) 14:00~14:20

◆開催場所:第1委員会室

◆出席委員:堤副市長、残総合政策部長、寒川総務部長、坂井財務部長、山本福祉部長

◆審議事項

・第5次岸和田市障害者計画の策定について……………障害者支援課⇒承認

◆審議概要

『第5次岸和田市障害者計画の策定について』

〈説 明 者〉長谷川障害者支援課長、福村子育て支援課長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤 副 市 長〉第4次岸和田市障害者計画以降の国の動きとして、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」や「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)等が策定されている。今回の計画の点字版は作成予定か。

〈障害者支援課長〉計画策定後、音声版と点字版を作成予定。

〈堤 副 市 長〉パブリックコメントの際には作成しないのか。

〈障害者支援課長〉予定していない。協議会委員や各団体を通じて周知を行っていただいております、ホームページに掲載することでパソコンの読み上げソフト等で確認できる。

〈堤 副 市 長〉障害者の文化芸術に対する支援は何か行っているか。

〈障害者支援課長〉NPO 法人との連携や個別支援は行っていないが、文化国際課が開催している「アートマルシェ」において、障害があっても参加しやすいような取り組みを行っている。

〈堤 副 市 長〉市として、障害者の就労支援は行っているか。

〈障害者支援課長〉市が直接関わってはいないが、作業所の中には、障害者がお弁当の配食や喫茶店での配膳などを行っているところもある。

〈総合政策部長〉計画の対象について、もし対象が広がるようであれば事業のボリュームが大きくなることが予想されるが、「第4次岸和田市障害者計画」から変更はあるか。

〈障害者支援課長〉変更はない。

〈財 務 部 長〉スケジュールの確認だが、議会各会派への説明後、パブリックコメントを実施。第4回推進協議会に諮り決定し、本会議で報告という流れで間違いないか。

〈障害者支援課長〉そうである。

〈総 務 部 長〉重点課題を「安心で快適な地域生活を送るための支援の強化」「就労支援・定着の促進」「障害特性・ライフステージに応じた支援の強化」の3点とした背景や理由は何か。

〈障害者支援課長〉アンケートの集約結果と「第4次岸和田市障害者計画」の取組み状況や課題等を踏まえて設定している。

〈総合政策部長〉本日欠席の教育長から予め意見をいただいている。

〈事務局〉代読させていただくと「基本理念、基本目標は第4次計画を引き継いでおり、現行の制度や施策・事業が適切に運営され、機能しているのかをしっかりと見極めることが必要であり、障害福祉計画、障害児福祉計画とともに、PDCA のより一層の徹底を図ること。」

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案どおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和2年 12 月 10 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 福祉部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	第5次岸和田市障害者計画の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	第4次岸和田市障害者計画(平成 29 年度～令和 2 年度)では、「だれもが尊厳を持ち 自立を支えあい とともに生きる社会」を基本理念として、障害者施策を推進してきました。現行の計画が令和2年度で最終年度を迎えることから、次期第5次岸和田市障害者計画(素案)をまとめました。 令和3年度から始まる「第5次岸和田市障害者計画」(素案)についてご審議をお願いします。 なお、計画書については同時に策定する「第6期岸和田市障害福祉計画・第 2 期岸和田市障害児福祉計画」との合冊により作成予定です。
説明者	福祉部障害者支援課長 長谷川 真紀 子育て応援部子育て支援課長 福村 勲
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和2年度 第13回会議
付議事項	第5次岸和田市障害者計画の策定について

★取組の目的

対象	市民、事業者、行政
どのような状態を目指す	障害のある人が権利の主体としてその尊厳が守られ、障害の有無にかかわらず、誰もが個性や能力を発揮し、社会の構成員として主体的に社会参加するとともに、相互に認めあい、支えあう社会の実現を目指します。

★総合計画上の位置付け

108050302	基本目標	I－8 みんながみんなを大事にし、見守る
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(5)誰もが必要な支援を受けることができる
	目指す成果	③障害者が必要な支援を受け、安心して日常生活を送っている
	行政の役割	イ 障害福祉サービス等を適正に提供する

★現状と課題

高齢化に伴う高齢障害者の増加、障害者の施設入所や長期入院からの地域生活への移行、障害者の就労、医療的ケアの充実、障害者への差別・虐待など多くの課題がありますが、特にこれらの課題を重点課題として計画策定しています。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
第4次障害者計画・第5期障害福祉計画進捗管理		258	305	736	553	553	553	553	553
障害福祉計画策定				3,122	165		4,000		150
障害者計画策定									
財源内訳	国費								
	府費								
	起債								
	一般財源	258	305	3,858	718	553	4,553	553	703
	その他								
事業費		計			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		7,080			718	553	4,553	553	703

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
有		○無						

★取組の効果を表す指標

						目標値				
	指標名	単位	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①										
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。